



発行所 東海新報社
〒422-0002 大津市大船渡町字藤原9-1
電話番号 0192-27-1000(内)
ファクシミリ 0192-27-2154
振替口座 02300-9-188
©東海新報社
東海新報Web
http://www.tokai-shimpo.com/

きょうの紙面
床上浸水世帯で片付け支援、大船渡高の生徒が大活躍……2面
復興は食から、「さんさんの会」が避難所へ食料配達……3面
本年度で閉校の矢作小、震災乗り越え卒業式……4面

本紙は、11日に発生した東日本大震災の影響で、13日から4ページ建て新聞を発行しています。3月いっぱい、紙を配布させていただきます。ご承知ください。
東海新報社

本紙は、安否情報や伝言メモを本紙で随時受付していただきます。紙面を自由にのびのびと書き込んで、窓口に当日発行紙を置いていただきます。避難場所でもご覧いただけます。

涙の搜索途絶えず

大津波から2週間 依然1700人行方不明

気仙沿岸



気仙沿岸に壊滅的な被害をもたらした11日の東日本大震災発生から、2週間を迎えた。自衛隊員や消防隊員らが家屋内に入り、行方不明の生存者救助活動はすでに終了。現在は大型重機が入り、がれき撤去に主眼を置いた活動が展開されている。それでも依然として気仙沿岸で1700人余りの行方不明者がおり、被災地では知らぬ情報を探る家族の姿が散見される。

悲しみの対面も

24日午前の大船渡市、散らばった伊勢大義さん(67)と妻のあいさん(64)は、11日に震災で津波に巻き込まれた大津波以降、連絡がとれなくなった。大義さんは、津波に巻き込まれた妻の行方不明を心配している。大義さんは、津波に巻き込まれた妻の行方不明を心配している。大義さんは、津波に巻き込まれた妻の行方不明を心配している。

木造で安らぎを

住田型仮設住宅も着工

被災地支援に努める。ともに試作研究を進め、町内サイクル型の建設様式をとる見通し。住田型仮設住宅建設に着手した。「森林・林業のまち」の特性を生かした木造1戸建てタイプで、まずは世田米字火石地内の町有地に13戸を建設。「木の香りで被災者の皆さんに癒されたい」と完成を急いでいる。

北里大、相模原キャンパスへ 市は早期の授業再開を要望
東内閣府副大臣が「最大限協力」
入居期限延長など要望



震災発生以降、消防団を中心とした捜索活動が進められていく。陸前高田市

- ### 亡くなられた方々 24日分
- 大船渡、陸前高田市が24日までに発表した新たな犠牲者や安置場所は次の通り。
 - 【大船渡市】
 - ▽大船渡町 伊勢美恵(87) 新沼博明(81) 新沼富子(80) 鶴岡桂子(73) 新沼英樹(23) 吉成誠(70) 黄堂弘(50) 鹿内幸子(42) 山本光男(81) 山本セツ子(78) 新沼菊子(71) 金野幸雄(83) 金野トモエ(76) 加藤アサ(76) 加賀シマ(85)
 - ▽三陸町 榎里和和(95) 和和ヒコ(88) 村上正(82)
 - ▽末崎町 熊谷友矩(88) 村上佐代(25)
 - 【陸前高田市】
 - ▽盛町 大友フリ子(71) 立根町 皆川セキ(82)
 - ▽三陸町 越喜来 横尾順子(80)
 - ▽陸前高田市
 - ▽盛町 大友フリ子(71)
 - ▽立根町 皆川セキ(82)
 - ▽三陸町 越喜来 横尾順子(80)

東内閣府副大臣が「最大限協力」
入居期限延長など要望
大船渡市は、被災者の入居期間を、県別高圧電源の復旧を促進するよう、市街地などを再調査した。

4月から個別配達再開
東海新報社では、今回の大津波被災翌日から緊急災害特集を避難所、一部地域などに無償個別配達を続けていますが、4月1日より有償の個別配達を開始することになりました。被災によって少なからずが打撃を受け、やむなく配達を休止していた販売店もありませんが、すべてが復旧に近づいてはいるものの、営業再開の体制が整った販売店から順に配達を開始いたします。

綾里避難所に 県議会正副議長
被災地の現状を調査している県議会の佐々木一栄議長と小野寺副議長は、23日夕、大船渡市入りし現地の要望を聞いた。

綾里地区コミュニティセンターの避難所で被災者を激励する佐々木議長と小野寺副議長＝三陸町